

日本民俗学会 第77回年会（於・奄美大島）

第2回 サークュラー

日本民俗学会第77回年会は、190名の参加申し込み、96名（対面54名、オンライン42名）の研究発表申し込みをいただきました。

年会の詳細が決まりましたので、第2回サーキュラーをお届けいたします。つきましては、参加費に代わっての「発表要旨集作成費」等のお振り込みや発表要旨のご提出など、期日までのお手続きを何卒よろしくお願い申し上げます。

日本民俗学会第77回年会実行委員会

1. 大会概要

主催 一般社団法人 日本民俗学会

共催 奄美市

後援 鹿児島民俗学会、奄美郷土研究会、沖縄民俗学会

あまみエフエム、奄美テレビ、奄美新聞社、南海日日新聞社

龍郷町、大和村、宇検村、瀬戸内町

期日 奄美大島での大会（対面）とオンライン研究発表に分けて行います。

◆奄美大島大会

2025年11月1日（土）・2日（日）・3日（月）

会場 アマホームPLAZA（奄美市市民交流センター）

奄美市名瀬柳町2番1号

◆オンライン研究発表

2025年11月8日（土）

2. 大会プログラム

11月1日（土）公開シンポジウム・授賞式・総会・懇親会

11:30～ 受付開始（アマホームPLAZA 1階マチナカリビング）

12:30～15:30 公開シンポジウム（アマホームPLAZA 1階マチナカホール）

「日本の〈南〉の民俗学—鹿児島・奄美・沖縄—」

15:40～17:50 研究奨励賞・日本民俗学賞授賞式、会員総会

18:30～20:30 懇親会（会場：後日案内）

11月2日（日）研究発表

9:00～ 受付開始（アマホームPLAZA 1階マチナカリビング）

9:30～12:00 研究発表（アマホームPLAZA内1～3階各会場）

12:00～13:00 休憩

13:00～17:00 研究発表

※プログラム内容は変更となる場合があります。

※詳細は、参加申込者に発送予定（10月初旬）の第3回サーキュラーでお知らせいたします。

※実行委員会では宿泊等の斡旋は行いません。

11月3日（月・祝）臨地研修「奄美大島北部めぐり」

バスでご案内します。参加ご希望の方は、お乗りになる飛行機の予定時間に合わせ、以下の2コースからお選び下さい。

すべて奄美市名瀬（集合場所は後日連絡）を出発し、奄美空港に到着します。再び奄美市名瀬に戻るバスの用意はございません。戻られる方はしまバス等をご利用ください。

- [笠利方面コース]奄美市名瀬8:00発 ➡ 空港11:00着(3時間・昼食なし)
 研修予定箇所「ノロのトネヤ跡・秋名アラセツ行事の実施地・赤尾木のハヤ墓等」
 [龍郷方面コース]奄美市名瀬8:30発 ➡ 空港13:00着(4時間30分・昼食あり)
 研修予定箇所「屋入の石干見(魚垣)・アマンデー・城間のトフル墓群等」
 ※各コース、墓地・神社・聖地を中心に回る予定です。
 ※各コース、定員15～45名(定員に満たない場合は中止することがあります。)

	東京行		大阪行	
JAL	奄美空港発	羽田空港着	奄美空港発	伊丹空港着
	14:30	16:30	12:30	13:55
Peach	奄美空港発	成田空港着	奄美空港発	関西国際空港着
	10:35	12:40	15:05	16:35
	月水金土日に運行		水金日に運行	

- ※臨地研修の実施は[JAL冬ダイヤ]に合わせて行います。
 ※スカイマークで、鹿児島経由の羽田・名古屋・神戸行の便もございます。
 ※JALで、福岡・鹿児島・沖縄経由で乗り継ぐ便もあります。
 ※すでに申し込まれた方で、冬ダイヤの事情によりキャンセルされる方は、年会事務局に8月末日までにメールにてお知らせください。

11月8日(土)オンライン研究発表

開催時間は9:30～16:00(予定)となります。

3. 会場アクセス ※別紙地図参照

- ①バス(奄美空港から約60分)
 しまバス空港線「こしゆく第1公園」または「平田町奥又」行に乗車
 バス停「奄美空港」から乗車 バス停「ウエストコート前」下車
 ②徒歩(バス停から約7分)
 バス停「ウエストコート前」からアマホームPLAZA(奄美市市民交流センター)まで徒歩

4. 発表要旨集作成費等の納入方法

(1) 納入方法と期限

合計金額等の必要事項をご確認のうえ、下記の「ゆうちょ銀行」総合口座にお振り込みください。払込手数料につきましては、ご負担願います。

必ず年会申込時の本人氏名(会員は学会に届けている氏名)でお振込みください。

【口座番号】 記号:10970 番号:26179091

【加入者名】 日本民俗学会年会実行委員会

- ①ゆうちょ銀行のATMからの振込の場合
 ゆうちょ銀行のキャッシュカードが必要です。
 ※ATMの操作で振込依頼人を変更できますので、口座名義の氏名と学会に届けている氏名が異なる場合は、必ず学会に届けている本人氏名にご変更ください。
- ②ゆうちょ銀行の窓口からの振込の場合
 窓口で「電信払込み請求書・電信振替請求書」にご記入の上、お振込みください。ゆうちょ銀行の口座をお持ちでない方でも送金できます。
- ③他の金融機関からの振込の場合(ATM、窓口、インターネットバンキング)

他の金融機関からゆうちょ銀行口座への振込は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号が必要です(上記の記号(5桁)・番号(8桁)では、振り込むことができません)。

銀行名:ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900

店番:098

預金種目:普通(または貯蓄) ※預金種目は「普通」「貯蓄」のいずれでも振込可能です。

店名:〇九八 店(ゼロキュウハチ店)

口座番号:2617909

・近年、犯罪や不正防止の観点から、団体名義での新規口座開設が難しい状況です。77回年会においても、従来通りの郵便局の払込取扱票(青色)を用いての納入ができません。

・発表要旨集作成費・懇親会参加費・臨地研修参加費の納入期限は9月12日(金)です。

・研究発表を行うには「期日までの発表要旨集作成費の納入」ならびに「2025年5月末日時点で2025年度の日本民俗学会の年会費が完納されていること」が条件となっております。いずれかまたは両方を満たさない場合、発表辞退として取り扱うこととなっています。十分にご注意ください。

・納入期限後のお支払いは当日受付で、当日料金にて申し受けます。またその場合には、名札の事前用意や発表要旨集の置き等はいたしません。

・自然災害等の不可抗力によって大会が中止となった場合にも参加費の全額返金はいたしかねます。

第2回目以降のサーキュラーは、7月1日(火)までに参加申し込みをされた方のみにお送りいたします。なお、電子版のサーキュラーは年会ウェブサイトに掲載します。

(2) 発表要旨集作成費等

発表要旨集作成費等は第1回サーキュラーでの告知の通り、下記の表のように定めます。払い込み期限は9月12日(金)です。期限以降の懇親会参加費・発表要旨集作成費・臨地研修参加費は、会場にて当日料金をお支払いください。

※年会会場の事情により、参加者におかれましては例年の参加費に代わり発表要旨集の作成費(印刷版には印刷費を加えた代金)の納入をお願いいたします。発表要旨集にはシンポジウムと臨地研修の資料も掲載しますので、オンライン研究発表および研究発表以外のプログラムにのみ参加する場合でも必ずお支払いください。

費 目 ※会員(一般・学生)・非会員とも	前払い	当日
年会参加費	無 料	無 料
懇親会参加費	4,800円	6,000円
発表要旨集作成費(電子版・PDFファイル)	2,000円	2,000円
発表要旨集印刷費(印刷版) ※上記の作成費を含む	3,500円	3,500円
臨地研修参加費(笠利方面コース)	4,000円	4,000円
// (龍郷方面コース)	5,400円	5,400円

※懇親会・臨地研修は、完全事前予約制となります。当日の参加申し込みは受け付けることができませんので、ご了承ください。

※懇親会・臨地研修の参加者が多数の場合は、会員優先となり、非会員の方の参加をお断りさせていただきます。

5. 発表要旨集印刷版の購入方法

参加申し込み時に発表要旨集印刷版の購入を希望された方は、事前振込され、当日会場の特設販売所にてお受け取りください。なお、オンライン研究発表参加者への郵送はいたしません。

6. 発表要旨の提出

一般発表、グループ発表、課題セッションに申し込まれた方は、以下の要領で発表題目及び発表要旨の原稿を「発表題目入力・発表要旨提出フォーム」にて提出してください。お預かりした要旨は電子版の発表要旨集(PDFファイル)にて公開します。また、事前に申し込まれた方に当日配付する有料の印刷版の発表要旨集にも掲載いたします。

発表内容は未発表のものに限ります。重複発表が判明した場合には、参加費の納入いかににかかわらず、発表をお断りすることとなります。

(1) 題目・要旨提出の概要

提出期限 8月31日(日)必着

※期限までに発表題目及び要旨が提出されなかった場合は、発表辞退とみなし、発表できません。

発表題目の登録

年会ウェブサイト(<https://www.nenkai77.fsnet.jp>)より「発表題目入力・発表要旨提出フォーム」にアクセスし、表示に従って、①お名前、②フリガナ、③所属、④メールアドレス、④発表種別、⑤発表形式、⑥発表タイトル、⑦グループ発表のテーマ名の順で入力してください。入力いただいた内容で発表登録します。要旨のデータファイルは、フォームの「添付ファイル」に添付して提出してください。

発表題目入力・発表要旨提出フォーム <https://ws.formzu.net/dist/S813781488/>
※第77回年会ウェブサイト(<https://www.nenkai77.fsnet.jp>)から入力できます

グループ発表要旨の提出

グループ発表の代表者は、個別の「研究発表要旨」とは別に、グループ発表全体についての要旨(グループ発表要旨)をご提出ください。この文字数、提出方法等はすべて個人発表の方法に準じます。

課題セッションの発表要旨の提出

「日本の〈南〉の民俗学—鹿児島・奄美・沖縄—」のテーマでの発表要旨をご提出ください。この文字数、提出方法等はすべて個人発表の方法に準じます。

研究奨励賞第三部門へのエントリー

研究奨励賞第三部門へエントリーする方は、上記の手続きとは別に学会HPからエントリーフォームでエントリーしてください。要旨は両方に出すこととなりますが、必ず提出してください。期限は年内発表の題目・要旨提出後となります。

(2) 発表要旨の執筆要領

発表要旨は以下の要領に従ってご用意ください。不明の場合は年会実行委員会までメールでお問い合わせください。

①要旨のファイル形式はPDFファイルのみとします。

②ページ設定はA4縦長1頁とし冒頭に年会ウェブサイトの「発表題目入力・発表要旨提出フォーム」に登録したものと、同じ正題、副題、氏名及び所属を明記してください。

- ③要旨集印刷の都合上、上下左右に12.7mm以上の余白を設定してください。
- ④提出されましたPDFファイルをそのままwebサイトに掲載し、要旨集に印刷いたします。寛政原稿をご提出ください。PDFファイル縦長A4の用紙1枚に収めていただけましたら、使用フォント・字数行数の設定・写真や図版の使用等に制限はありません。
- ⑤web公開版はカラーが反映されますが、印刷版は白黒での掲載となります。ご了承ください。

7. 発表の準備について

・個人発表および課題セッションは発表20分・質疑応答5分・移動5分を1ユニットとします。グループ発表の時間枠は120分とし、その配分は代表者にお任せします。発表時間の超過が生じないよう、ご協力をお願いいたします。

《対面の発表》

- ・個人発表および課題セッションにつきましては、会場教室に座長とタイムキーパー(ベル係)を実行委員会より手配します。グループ発表につきましては、座長、タイムキーパーともに手配しません。
- ・レジュメを配布する場合、事前に各発表者が印刷したものを持参してください。実行委員会では印刷を承っておりません。またステープラー等の貸出も行っておりません。
- ・聴講者に配布するレジュメは、各会場入り口付近に長机を用意しますので、開始後はそちらに配置いたします。発表終了後もそのままにしてくださいが、会期後は処分いたします。
- ・発表会場の各教室には、一律に以下の設備を用意します。
 - ①HDMIケーブル
 - ②備え付けプロジェクターあるいはモニター
- ・PC使用の場合は各自でご持参ください。お手持ちのPCに①の接続端子があるかご確認ください。もしくは①に接続するアダプターをご用意ください。
- ・会場の機材は動画や音声の出力に十分適しておりません。

《オンラインの発表》

- ・個人発表および課題セッションにつきましては、座長を手配します。グループ発表につきましては、手配しません。
- ・発表レジュメおよび画面共有資料がある場合には、第3回サーキュラーで示す提出先に期日までに送って下さい。
- ・発表資料に使用する文献、データ、図版、写真、動画等の著作物については、著作権、著作隣接権に配慮し適正に使用してください。これらの権利に関して第三者から損害を被ったとの申し出があった場合は、当事者同士で解決するものとし、本学会は何ら責任を負わないものとします。
- ・当日には全体の開始前に、会場ごとに接続テストを行う予定ですので、第3回サーキュラーに示す時間に必ず、自分の発表会場のZoomへアクセスしてください。
- ・主催者側で記録のための録画を行いますのでご了解ください。ただし、録画の提供は行いません。また、個別の録画および録音についてはご遠慮願います。

8. 発表の会場託児室の利用とその他託児サービスの費用補助について

第1回サーキュラーでご案内のとおり、会場託児室とその他託児サービスの費用補助には、登録が必要です。託児室の利用や託児サービスの費用補助をご希望で、未登録の方は、年会事務局まで至急ご連絡ください。

本年会では会場近くの施設にて託児室を開設予定です。保育は外部の業者へ委託します。保育業

者と、託児室の金額および補助金額等の詳細については、利用登録者へ個別にご案内します。

9. 書籍販売・頒布と研究活動等情報提供ブースについて

本年会では11月1日(土)～2日(日)の2日間、書籍販売・頒布と研究活動情報提供ブースを設置します。

希望される個人もしくは団体は、下記の第77回年会ウェブサイトのフォームよりお申し込みいただくようお願いします。

・書籍販売・頒布ブースにお申し込みいただけるのは、出版社のほか、会員個人もしくは会員の所属する団体です。書籍、報告書のほか、会員に資するものであれば販売・頒布いただけます。出展は無料です。

・ブースの数には限りがありますので、申し込みが多数の場合はご辞退いただく場合があります。

書籍販売・頒布会場

会場はアマホームPLAZA 1階マチナカリビングです。

申し込み締切 2025年8月31日(日)

・お申し込みいただいた方には、8月31日(土)申し込み締切後に「日本民俗学会第77回年会書籍販売・頒布の手引き」をお送りします。

研究活動等情報提供について

・書籍販売・頒布会場には、年会参加者・会員などが民俗学関連研究の活動についての情報提供を目的にチラシ・パンフレット・解説ボードを置いて、配付などができる場(テーブル)を設けます。当日にチラシ・パンフレット類を置いて、持ち帰り自由とする場合は、事前申込みは不要ですが、その他の研究情報等の提供を希望する場合は、「書籍販売・頒布」と同じフォームから事前にお申し込みください。

書籍販売・頒布申し込みフォーム

<https://logoform.jp/form/3bCu/1126992>



10. 広告掲載の希望

発表要旨集への広告掲載を希望される方は、8月7日(木)までに年会実行委員会事務局宛にメールで詳細をお問い合わせください(メールの件名は、「広告掲載の問い合わせ」としてください)。

11. 公開シンポジウムのご案内

日本の〈南〉の民俗学—鹿児島・奄美・沖縄—

趣 旨

これまで日本民俗学会が日本の〈南〉で企画してきた年会は、1990年代初頭の計2回であった。その場所とテーマは、1990年の沖縄大会における「沖縄民俗研究の展望—東アジアの中の沖縄—」、1994年の鹿児島大会における「南九州の民俗の地域性と民俗学」で、それぞれ開催地の民俗を理解する方法の検討や視座をめぐって企画されてきた。本年会の奄美大島での開催は、そこから約30年ぶりの日本の〈南〉での年会となる。また、近年の年会が慣例的に大学機関を会場に開催されてきたなかで、今回久しぶりの地域開催の試みとなる。

奄美大島は、奄美群島（奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島）を構成する島のひとつである。当域は行政区画のうえで鹿児島県に含まれているが、中世相当期に琉球国の版図に含まれていた歴史的経過から、言葉、芸能、行事等には沖縄県域に通じた民俗文化が保持されてきたことが知られている。それによって本年会では、鹿児島・奄美・沖縄の民俗に焦点を当て、当域をフィールドに研究を進めている方々に登壇を依頼した。

第一部では、鹿児島・奄美・沖縄、それぞれの地域における民俗研究の動向を俯瞰したい。最初に、各団体会員に地域における研究動向を紹介していただくとともに、登壇者それぞれが研究をすすめている〈南〉の民俗学を語っていただく。その後、研究領域として重層する「奄美」をキーワードに、今後のそれぞれの民俗研究の可能性について意見の交換を行いたい。

第二部では、民俗学が研究対象としてきた幅広いテーマの中から、民俗芸能に焦点を当てる。まず、南九州から奄美群島にかけて分布する民俗芸能における琉球系・沖縄系／ヤマト（日本本土）の混交の問題に注目する。続いて南西諸島最南端に位置する八重山諸島の多種多様な民俗芸能の研究状況と今後の展望について検討する。最後に、海外や（沖縄）県外における沖縄系人の多彩な芸能活動に注目し、それが沖縄や奄美の民俗芸能研究にどのような影響を与えうるかについて議論してみたい。

以上を通して、日本の〈南〉の民俗学の更なる発展につなげていきたい。

【第一部】 それぞれの〈南〉の民俗学

進行：服部比呂美（東京都／國學院大學）

登壇：小島摩文（鹿児島県／鹿児島純心大学）

町健次郎（鹿児島県／瀬戸内町立図書館・郷土館）

萩原左人（沖縄県／琉球大学）

【第二部】 民俗芸能研究の視点から

進行：久万田晋（沖縄県／沖縄県立芸術大学）

登壇：笹原亮二（大阪府／元国立民族学博物館）

飯田泰彦（沖縄県／竹富町史編集係）

澤田聖也（東京都／東京藝術大学）

12. 今後のスケジュール

- 8月7日(木) 発表要旨集広告掲載のお問い合わせ期限
- 8月31日(日) 発表要旨提出期限、書籍販売・頒布と研究活動等情報提供申込期限、
託児希望申込期限、研究奨励賞第三部門エントリー期限
- 9月12日(金) 発表要旨集作成費・印刷費・懇親会参加費・臨地研修参加費納入期限
- 10月上旬 第3回サーキュラー発送予定(参加・発表申込の方のみ)
内容:会場案内、発表要領、各発表プログラムほか
- 〈年会当日〉
- 11月1日(土) 公開シンポジウム、研究奨励賞授賞式、会員総会、懇親会
- 11月2日(日) 対面研究発表(個人、グループ、課題セッション)
- 11月3日(月・祝) 臨地研修
- 11月8日(土) オンライン研究発表

第77回年会実行委員会事務局

〒894-0036 鹿児島県奄美市名瀬長浜町517
奄美市立奄美博物館内
日本民俗学会第77回年会実行委員会事務局
e-mail : nenkai77@fsjnet.jp
※ お問い合わせはe-mailをご利用ください。